

ひろば 大代

No.463

平成30年2月号

大田市の人口
(H30.1.31 現在)
大田市 35,497人
内大代町 362人
男 159人
女 203人

★成人の日 おめでとう★



成人式を迎えて

上市 木村先文

こんにちは！今年無事に成人式を迎えました。

見た目がまだ幼く見えるため、袴を着ても周りからは「七五三」と言われることが多く辛いですが、お酒も飲める立派な20才になりました。成人して初めてのお酒が羅浮仙でないことが少し残念ですが、幼い頃から大人たちが美味しそうに飲むお酒を羨ましく思っていました。僕がそんな大人に混ざってお酒を飲めるようになり、とても嬉しく思います。

僕は今、益田の看護学校に通い、看護師になるため必死に勉強をしています。特に今年は臨地実習が多く、平日のほとんどは病院にいます。記録物が多く、夜はぐっすりと寝る時間がありません。しかし、そこは20才なのでグッとこらえて日々頑張っています。

睡眠時間も少ない中、僕はあまり風邪をひきません。こんな丈夫な体に育ててくれたのは大代のみなさんであり、大代の環境であり、何より家族のおか

げです。家族の言うことが昔は口うるさく思うこともありましたが、それが今では大切な教えになり、離れていても家族に守られていることを実感します。

これからいろんな経験をすると思います。家族や地元大代のことを思い出し、誇らしく思ってもらえるように頑張ります。

二十歳になって

下谷 笹田茉那

1月4日の成人式で大人への仲間入りをしました。まだ実感はないけれど、これから何をすることも大人として見られるのでしっかりしていかなければいけないという気持ちです。

これまで私を支えてくれた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。また素晴らしい仲間と過ごした20年間は、私にとって大きな財産となっています。成人式では中学校卒業以来、会っていなかった友人達と再会することができ、皆それぞれの夢や目標に向かって頑張っていると知り、私も今まで以上に頑張っていかなければい



などという気持ちになりました。

20歳になったと言う事で、自分で目標を決めました。もつと言葉を勉強することです。理由は自分の口で伝えるのが苦手で、考えている事と違う言葉を使ってしまう、人に誤解される事があるからです。成人になると自分の言葉に責任を持たなければなりません。

だから人と話す時になるべく人に不愉快な思いをさせないように、なるべくやわらかい言葉になるようにしてきました。

最後に私をここまで育ててくれた両親に感謝の気持ちを忘れずに、これからは少しずつでも恩返しをしていけたらと思っています。

成人式を迎えました

本郷 松井涼乃



今年、成人式を迎えることができました。

大代町内の同級生は5人と少ないですが、お正月やお盆にはみんなが集まりワイワイと楽しく遊んでいます。

春には短大を卒業し、大好きな大代

町に戻ってきます。ふるさとで素敵な社会人を目指します。温かく見守って頂ければ嬉しいです。よろしくお願いいたします。

私の好きな大代の風景

東京石見高山会 御手洗朋子



毎号届く「ひろば大代」と「婦人会だより」はふるさととの絆、楽しみなメッセージです。

私は中学と同時に実家（浄土寺）を単立ち看護の道を志し、日本赤十字学校にて看護師として学び、東京・札幌・東京と多くの患者さんとの出会いと別れを重ねました。

身内の病人一人さえ満足に看取れない私に腎不全の母から、「遠く故郷を離れた病む人こそ、家族の気持ちで接しなさい」との便りを支えとしました。

そんな折、札幌病院でのこと、大家出身の〇〇さんが虫垂炎で入院してこられました。心の中では公私を越えたなつかしさ、うれしさを思ったことです。

また、西本願寺に勤めていた姉の便

りには「京都駅0番ホームに佇めば、夜行列車などでふるさと訛りがあちこちに聞けた」と書いてあり、ふるさと是有り難きかな…です。

ふるさとの四季と共に私の自慢は、今田登三さん代表（私の同級生）の大代味噌、婦人会作の梅干、健康茶などなど。胃袋を満足させてもらっています。

自慢ついでにもう一つ浄土寺の大松です。今は銀杏と共に切株のみですが：その大松に毎年「梟」が巣を作りヒナを育てていました。その大松は見る事が出来ませんが、幸いにも本堂の襖絵がそれです。温泉津開春の酒店若林氏の作です。

東京石見高山会創立者の一人、渡俊則氏が少年の頃、若林氏は毎日、本堂の縁でデッサンしておられた事を話して下さっていました。歴史の証人ですね。ちなみに画伯は温泉津の妙好人、浅原才市さんを描かれた方です。おついで折に、浄土寺の本堂に左右八枚の大松の絵を見にお参りください。つれづれ大代の風景と味覚を走り書きしました。恥ずかし乍ら…。合掌

『今年^{いぬ}は成年私の年』 東京タワーと古い年

四日市 荒本由未



東京のシンボルである東京タワーは1958年に竣工されました。

この年は、映画、『ALWAYS三丁目の夕日』の時代設定でもある昭和33年に当たります。日本の高度経済成長と共に大きくなった世代です。

平成という時代も終わりを迎えようとしているのに、未だに昭和で換算してしまう習性はなかなか抜けません。

今年^{いぬ}は昭和93年。してみればやはり私は今年還暦なのね。信じたくないよな、認めなければならぬよな。すでに同窓会の日取りの連絡もあり、

身体の衰えは確実に現れ、僧侶でありながら、数ヶ月前から正座がままなりません。椅子を抱えて今後法務に臨みます。どうぞお許しくさいます。

ともあれ、ここまで歩ませていただきました。「諸行無常」の道理を実感しながら、「毎日が初体験」の気持ちで、老いの坂を元気よく登ろうと思っています。

成年のわたし

本郷 日向一美



昨年は夫が年男でしたが、今年が年女・しかも還暦というめでたい年となりました。

成年というと、忠実で誠実と、なにやら前向きに頑張るぞというイメージです。私も似たところがありますが、面白みのない人間のようで、ちよつと遊びも入れたいなど日々感じています。しかしながら、この性格はなかなか変わりようもないかもしれません。

さあ今年^{いぬ}はどんな年になるでしょうか？2月は孫の翔大が1歳の誕生日を迎えます。4月は小学1年生の心願も2年生となり、5月には2番目の心願も5歳になります。

そして外孫の亜弥音が小学1年生となり、5月には咲愛音が1歳の誕生日を迎えます。9月は米寿を迎える父の誕生日です。うれしいことがまだまだ続きそうです。

還暦を迎え過去をふり返ると、そこにはいつも夫がいて、疲れてはいたけれど何事にも逃げ出さない私がいまし

た。そして今、優しい嫁と可愛い孫達に囲まれ、9人という大家族に満足げな夫の顔があります。

今、第2の介護の時期となりました。前回と違うところは、私も若くないということ。大きな違いは助けてくれる嫁がそばにいてくれることです。本当に感謝です。

成年の私は、どうやら前向きに地道に努力するしか仕方がないようです。昨年、燃え尽きた豊かさや幸せの灰の中から、新たに意味や価値が成長するのが今年らしいです。

「ここ掘れワンワン」と宝物は掘り当てられないにせよ、還暦祝いに夫とクルージングの旅でも行きたいです。《お父さん、どうぞよろしくお願いします。》

成年を迎えて

柿田 谷口光枝



今年^{いぬ}は成年。七回目の成年を迎えたことになりました。

今年は大変な年で、三八豪雪と言われた年には、柿田の道はまだ狭く、川上道路の雪かきにスコップを持って汗

びつしよりになって雪掘りした事を覚えていています。

今年の七月終り頃に、怪我をして通院一ヶ月しました。腰痛もあって野菜作りが出来ず、近所の方々から野菜を頂いて今日まで過ごしてきました。

大根のシッポ、菜っ葉一枚一枚がどんなに大切かをこの年になって知らされました。早く雪が解けて暖かくなつて、少しでも畑仕事が出来る事を願って日々過ごしていきます。

皆さんには色々とお世話になると思っています。今年一年が良い年であります様に。

ロケットストーブと 災害食づくり



大代自主防災会

ロケットストーブは1980年代に、アメリカで開発された燃焼機器です。熱効率の高さだけでなく、低コストで材料や燃料の自由度が高く、自分で工夫して創れ、さまざまな環境や用途に使えることから、緊急時の暖房・調理器具として注目されています。

各種のインフラが壊滅的な被害を受けた東日本大震災では、被災地に救援物資が行き届くまでに時間がかかり、避難所の多くで暖房・調理用の熱源を確保しにくい状況が続きました。そんな中、注目を集めたのが、簡易型の熱源として利用できるロケットストーブでした。



被災地で調達可能な資材で簡単に作る事ができて、廃材や枯れ木などを燃料にしても高い熱効率が得られるため、出雲市の岡野正美さんを中心としたグループは、被災地でロケットストーブが被災者の助けになると震災直後からロケットストーブのつくり方の情報発信などの活動をされていました。

また、移動式のロケットストーブを製作して被災地へ送るボランティア活動なども展開されました。

大代自主防災会は高山公民館と共催で大田市の「自主防災組織育成事業補助金」と「まちづくり委員会活動交付金」を得て「ロケットストーブの製作と災害食づくり」の研修会を2月4日(日)大代まちづくりセンターで実施しました。

当日は、高山ブロック各町と大代自主防災会から30名参加があり、

第1部は渡井正秋さんの指導で使用済みペール缶を活用し、約1時間かけてロケットストーブをつくりました。

第2部はロケットストーブを使用した「ポリ袋災害食」のつくりを田中公民館長の指導で行いました。

枯れた竹を燃料として大鍋で湯を沸かし、米・牛井の具材をそれぞれポリ袋に入れ空気を抜き、沸騰したお湯の中に入れ、待つこと45分、ご飯と牛井の具が一度に出来ました。

盛付後、参加者全員で試食、参加者の中から「〇〇家の牛井より美味しかった」等の感想がありました。

今回製作したロケットストーブは、緊急時に活用する為、ブロックのまちづくりセンターと大代町内の集会所へ常備しました。



これから展望

大代地区社会福祉協議会

会長 高村 清

前号の紙面の都合上、新年のご挨拶が遅れました。本年も、早いもので如月も末となりつつあります。

町民の皆様には希望に満ちた新春を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。旧年中は地区社会福祉協議会の活動に、また赤い羽根共同募金にと、例年のことながら多大なるご理解ご協力を頂き、有難うございました。

さて、本紙前号のセンター長のあいさつにもありましたが、大代地区にあつては、この人口減少過疎化の中で、住み慣れた地域で住み続けるための施策に全員一丸となって取り掛からないといけない状況となっております。

特に、生活機能の確保としての介護予防事業、配食サービス、買い物支援、見守りサービス等にあつて、国の介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインが示され、大田市ではその実践の一つとして、高齢者の通いの場づくり事業を推進している過程です。（市内の27ヶ所中、8ヶ所の地区社協単位地域で既に実施中）

しかし、当大代地区での実践は上記事業で要求されている人材の確保等が難しく、地区社協各委員で検討を重ねていますが、結果が出せないのが現状です。

そこで、一つの考え方の事例として紹介させて頂きます。

1月14日、邑南町にて「邑智郡地域包括ケア推進シンポジウム、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために」が開かれ（出席）、4か所の

地域の活動報告がありました。その中で、邑南町口羽地区での取り組みが我が大代地区での参考になるのではないかと思われました。



理由は、口羽地区の過疎状況が、人口710人、高齢化率58・9パーセント、課題として、地域自治困難（集落会、自治会、団体の役員候補者がいない。葬儀の手伝い困難、道刈り溝掃除、伝統行事の催行難しい）、田畑の荒廃（耕作放棄地の増大、裏山雑草、竹やぶ繁茂、有害鳥獣の被害）、日常生活困難（交通不便、家回りの草刈、除雪、急病や災害時の不安）等とした共通点が重なり合うことからです。

そこでの取り組みは、地域自治困難では「てご協力隊」の設置をして可能な住民の登録をして対応。

田畑の荒廃では直払、農地水、事務の一元化、農業法人の設立、耕作放棄地管理チームを設置しての支援。

日常生活困難では、車を購入し、「てご協力隊」の支援、サロン等の拠点窓口の整備、運営をして対応されているとのことでした。

本年は、地区社会福祉協議会として、前述の目的を早急に解決するため、連合自治会の一翼として共に検討、実践に邁進したく思いますので、例年にも増した町民の皆様の積極的支援、協力をお願いします。

「おひな様交流会」

のお知らせ

来る3月7日(水)午前9時30分から午後3時まで、大代まちづくりセンターで「おひな様交流会」をします。また10時からゲーム等したいと思えますので、皆様お誘い合わせ、是非お出かけ下さい。

俳句

あすなる句会

椿 花田時子



冬籠り 曾孫の写真 見て過す
一枚の 余寒見舞いの 届きたり

下市 今田文子
朝の膳 目玉焼きにと 寒卯
断水の 続く余寒の 生活たつきかな

川上 岩田律枝

繰り返へす 余寒に老の 一ト日暮
寒明けと 云へど零下の 日々続く

上市 横田美恵子

冬空や 熱き豚汁 皆笑顔
春立つと 聞けば心も 弾みたり

椿 榎原敏子

氷点下 ハンドル握る 手に力
降る雪や 餌を啄む 雀どち

椿 柿丸寿枝

野佛の 慈願や村の 山眠る
入院の 夫残す帰路 雪しまく

※雀どち 雀たち

雪しまく 雪が舞い吹雪くこと

3月・4月行事予定



▼4日(日) 婦人会総会

▼7日(水) おひな様交流会

▼10日(土) 第三中学校卒業式

▼11日(日) 高山の里直売所
開店記念餅つきイベント
午前9時〜販売

▼11日(日) 田中公道氏
半寿(81歳)記念リサイタル

「あすてらすホール」午後2時開演

▼16日(金) 高山小学校卒業式

▼18日(日) 福祉弁当

▼20日(火) 社協会議

▼23日(金) 連合自治会

▼4/8(日) 大江高山自然観察会

山田集会所前 午前8時半集合

※雨天の場合中止です

▼4/8(日) 大田市議会議員選挙

▼4/10(火) 高山小学校入学式

▼4/10(火) 第三中学校入学式

編集後記

立春を過ぎて、尚各地に雪が降り続き、大変な雪害がでていますが、先日2月9日、大代町八反田の温度計がマイナス11℃に達しました。その後も余寒は続き、連日水道も凍結しましたが、15日やっと温度が上昇しました。皆様にはお見舞い申し上げます。暖かい春はもう目前です。